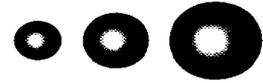


Hand in Hand 21 Plus

ハンド・イン・ハンド 21 プラス

名取市男女共同参画情報紙
プラス4号 2004年11月



介護は家族の心の支援が一番なのです。

名取市男女共同参画推進委員会広報啓発部会では、今回名取市在宅介護支援センター福松苑で、副所長を勤める介護支援専門員(ケアマネージャー)の白地晃(しらち・あきら)さんを訪ね、いろいろインタビューさせていただきました。

その内容の一部を紹介します。

裏面へ…。



早朝や夜遅くに、独り暮らしのお年寄りから自宅に電話がかかってくる時もあります。そんなに重要なことではなく、「今しないと忘れてしまうから……」などというものがほとんどですね。

高校時代から始めたボクシング。県大会で優勝し、国体にも出場した事のある白地さんは、優しさが顔ににじみ出ている、ホッとする感じの方です。



白地さんにインタビューする男女共同参画推進委員

Hand in Hand 21 プラスは、名取市男女共同参画推進委員会の手づくり情報紙です。市内で活躍している方々を紹介しています。

Q)自分の仕事(介護支援専門員)を選んでよかったと思うときは、どんなときですか。

A)相談されているご本人やご家族の悩みがひとつでも解決したときは、自分のことのように嬉しく、この仕事を選んでよかったと思います。

Q)ショートステイなどの施設には、希望すればすぐに入れるのですか。

A) ショートステイは、3ヶ月前から予約できる施設が多く、緊急に入りたいと言われても、希望する近くの施設はほとんど満室で利用できない場合が多く、遠くの施設を利用するケースが多いようです。利用希望者が多いのに対し、施設が少ないのが悩みのひとつです。

Q)仕事で悩むのはどんな時ですか。

A)家族は施設を利用したいが、本人は通所や入所したくないなど、本人と家族で意見の違いがあるとき。介護には、家族の心の支援が大切なので、このような例は非常に時間がかかります。家族の気持ちや、介護疲れの状況、そして本人の意思など互いに理解できるよう心がけています。本人の気持ちが向かないと、施設に通所や入所しても長続きはしません。

Q)今の職業を一生の仕事として選んだ理由を教えてください。

A)子供の頃、親戚に80代後半の高齢にもかかわらず、若者と一緒に山登りをしたり、何にでも挑戦している方がいました。なぜこのように元気でいられるのか。食生活に注意し、いつも運動をしていたからなのかなど、これらの事に非常に興味を持っておりました。また、自分は小さい頃から、何度か入院し手術を受けたことがあり、将来は、福祉関係の職業に就こうと思っておりましたので、迷わずこの職業を選びました。

参照 10月31日現在 地区別65歳以上の人数とパーセント

増田地区	1,988人	16.4%	増田西地区	1,535人	14.7%
名取が丘地区	1,347人	21.7%	閑上地区	1,857人	24.3%
下増田地区	588人	26.0%	館腰地区	1,310人	16.3%
愛島地区	870人	22.1%	高館地区	967人	20.5%
ゆりが丘地区	376人	6.6%	相互台地区	207人	7.0%
那智が丘地区	307人	8.2%			
みどり台地区	33人	3.3%			

市全体の65歳以上の人口は11,385人で全体の16.6%です。地区によっては4人に1人が65歳以上という所もあり、男女問わず、お互い協力し、高齢者を支えていく必要があります。

(編集スタッフ)

名取市男女共同参画推進委員会・広報啓発部
泉 勝・相澤 喜美・洞口 ミツヨ
小林 和子・鈴木 英夫・洞口 のり子

この情報紙に関する問い合わせは、事務局名取市役所企画課女性市民参画係まで
384 - 2111(内線336) Fax 384 - 9030